



python™



袖折れ構造部の作図に対応

今回は横断面作成アプリ (CrossSection) と一般図作成アプリ (StructuralDrawing++) のバージョンアップの報告です。砂防施設配置計画の検討にかかわる実務において、使用頻度が見込めて必要性の高い機能として袖折れ構造物の作図への対応を検討することとしました。袖折れ構造物を検討するにあたり、まず、横断面作成アプリにおいて、ドッグレッグした横断測線の設定と標高値の計測を可能とします (右図上)。作成した横断面データをもとに、一般図作成アプリにおいて、袖折れ構造物の 2D 一般図と 3D 図 (右図下) を DXF 形式のデータとして出力することに対応することとします。現在は、土石流対応の不透過型砂防堰堤を対象とした作図のプログラムをデバッグ (修正) しています。さらに、掃流の砂防堰堤、流木捕捉工、土石流の透過型砂防堰堤への対応へと進み、さらに、それぞれについて概算工事費の算出機能の修正 (袖折れ部のコンクリートボリュームと型枠面積の追加) を行い、5 月中にリリースしたいと考えています。

bitProject の当面の運営方針として、今月以降、その他のアプリについても、随時、必要性の高いと判断されるものからバージョンアップします。バージョンアップが済み次第、ウェブサイト、ニュースレターなどで報告します(^^) /

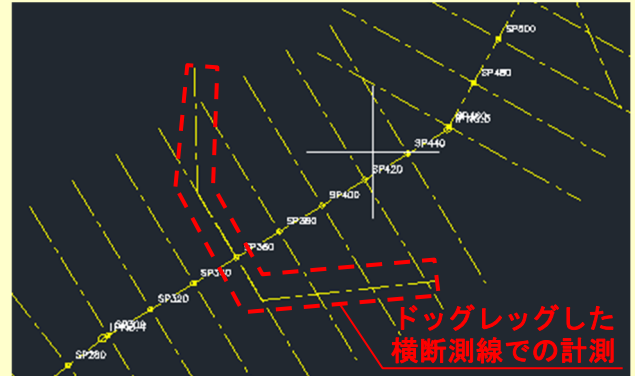
お知らせ

複合構造物に対するアプリの活用

袖折れ構造物の作図とは別に、複合構造物 (不透過型砂防堰堤の前庭工に流木捕捉工を設置する施設や土石流堆積工など床固工を上下流に複数配置する施設など) の作図において一般図作成アプリが活用できるように修正を行いました。修正前の垂直壁の水通し断面は、本堤の水通し断面と同じ断面で作図していましたが、修正により個別に断面を設定できるようにしました。また、前庭工に設置する流木捕捉工を作図する場合は、上流の背面に接続する水叩きと側壁護岸の形状を考慮して根入れを決定するように修正しました。

以上の修正は StructuralDrawing++ ver1.23 として 4 月 9 日に、また、上記の Crosssection ver1.50 も 5 月 6 日にリリース済みです(^^) /

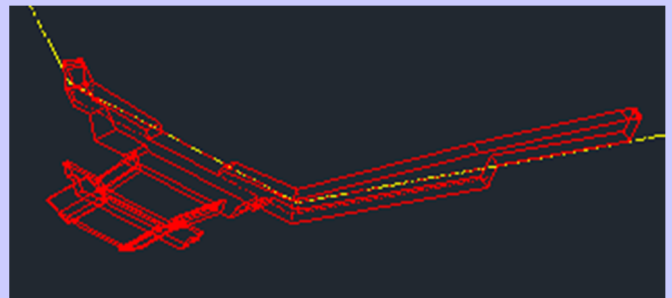
1. CrossSection のバージョンアップ



ドッグレッグした横断測線での計測

2. StructuralDrawing++ のバージョンアップ

※3D の作成もできます!!



編集後記

新緑の候

今年のゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか? こちらは、とくに変わりなく 1 日だけ外に出かけ孫娘と近くの川でつりを楽しみました(^_^) 釣果はヤマメ 1 匹でしたが天気も良く楽しかったです。最近、外来種のブラウントラウトが増えていて、ヤマメは少なくなってしまいました(T_T) 近くで釣りをしていたおじさんにブラウントラウトを 2 匹いただき、家に持ち帰り焼いて食べてみました。案外、味がありおいしかったですよ! (^_^)!

代表 宮崎 知与



技術士 (建設部門) 登録事務所

Office.bit (オフィス・ビット)

〒066-0052 千歳市文京 5 丁目 3-2

☎090-7583-3062

Email : miyazaki.co.jp.since2019@gmail.com

Website : <https://online-bit.com/>